

日 誌（平成4年12月）

【 国 内 】

- | | |
|--|---|
| <p>1日 ○大蔵省、「金融機関の貸付債権の流動化等自己資本比率向上策について」の通達の一部を改正</p> <p>2日 ○金融制度調査会ディスクロージャーに関する作業部会、「金融機関の資産の健全性に関する情報開示について」発表</p> <p>11日以降 ○都市銀行等、短期プライムレートの引下げを実施</p> <p>17日 ○大蔵省「金融制度改革実施の概要について」発表</p> <p>20日 ○政府、「平成5年度の政府経済見通しと経済運営の基本的態度」を閣議了解</p> | <p>22日 ○大蔵省、「先物取引の在り方について」発表</p> <p>○長期信用銀行等、割引金融債の発行条件を改定（平成5年1月債から実施）</p> <p>24日 ○政府、資金運用部預託金利の引下げについての政令を公布、即日実施</p> <p>25日 ○郵政省、「定額郵便貯金の金利の自由化等について」発表</p> <p>26日 ○政府、平成5年度一般会計予算および財政投融资計画の政府案を閣議決定（大蔵原案内示は12月21日）</p> |
|--|---|

【 海 外 】

- | | |
|--|--|
| <p>1日 ○マレーシア、通貨の略式表記を変更（M\$＜マレーシア・ドル＞→RM＜リンギ・マレーシア＞）</p> <p>6日 ○スイス、国民投票で欧州経済地域（EEA）加盟を否決</p> <p>10日 ○ブンデスバンク、93年マネーサプライ目標値を+4.5～6.5%に設定</p> <p>○フランス銀行、93年のマネーサプライ目標値等を発表</p> <p>○ノルウェー、自国通貨のECUペッグを停止し、フロー制に移行</p> <p>11日 ○ベルギー国立銀行、高率適用金利を0.25%引下げ</p> <p>○オランダ銀行、政策金利を0.25%引下げ</p> <p>14日 ○ロシアで人民代議員大会が開催され、チェルノムイルジン氏が首相に就任</p> | <p>18日 ○ドイツ、欧州同盟条約を批准</p> <p>○韓国、大統領選挙を実施</p> <p>19日 ○米国、金融制度改革法案に基づく自己資本充実度に応じた早期是正措置の適用開始</p> <p>○台湾、立法院総選挙は野党民進党が躍進</p> <p>22日 ○韓国、ベトナムと国交樹立</p> <p>23日 ○イタリア、財政緊縮法案可決を受けて公定歩合等を1.0%引下げ</p> <p>○ロシア、チェルノムイルジン新内閣結成</p> <p>24日 ○米国連邦公開市場委員会（FOMC）、11月17日開催の同委員会の議事録を公表</p> <p>30日 ○チェコ・スロバキア国立銀行、公定歩合を1.5%引上げ</p> <p>31日 ○チェコ・スロバキア、連邦制を解体</p> |
|--|--|